



MGU Chapel Letter

—第 35 号 2024 年 3 月 1 日— 発行：大学宗教センター



* 2023 年度聖句 *

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、
行わせておられるのは神であるからです。」

フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節



卒業・修了礼拝に行きましょう

3 月 15 日（金）10 時から、礼拝堂で卒業・修了礼拝が行われます。日本キリスト教団仙台北教会の近藤誠牧師が、「あなたがたは地の塩、世の光である」というタイトルでメッセージを述べて下さる予定です。音楽科学生によるサクソフォン独奏の賛美演奏もあります。卒業前の最後の礼拝、ぜひ出席しましょう。

2024 年度の宮城学院 年度聖句が決まりました

人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人に
しなさい。

新約聖書 マタイによる福音書 第 7 章 12 節



イエスが群衆に語った「山上の説教」に登場する、有名な言葉です。世界の多くの文化で同様の教えが伝えられているため、「黄金律（ゴールデン・ルール）」とも呼ばれています。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL: 022-279-9558

Email: christ-c@mgu.ac.jp

✦ 行き先が分からなくても ✦



3月は卒業の季節。社会に出て行く4年生にとっては、無事に学びを終えることができた喜び、将来への希望で一杯なことでしょう。と同時に、心の中にはいろいろな不安もあると思います。

「社会でやって行けるかな」と心配な人もいれば、「就職先は決まっているけど、本当にそこで良かったのだろうか。自分がしたかったことは、これ

なのだろうか」と内心悩んでいる人もいるのではないのでしょうか。

キャリアと言うと、「自分がしたいことがしっかり決まっていて、その夢に向かって就職し、仕事をして行く」というイメージが強いですね。しかし、実際には、社会に出た時には自分がしたいことがハッキリしていないという人も沢山います。目の前の仕事をコツコツこなしていく中で、自分の適性や能力、やってみたいことや可能なことが少しずつ見えて来る。そうする内に、思わぬ出会いや生活環境の変化などからそれを実現するチャンスが生じて来る。そのようにして大成した人は大勢います（これを「加算型キャリア」と言うそうです）。私自身も大学を出た時には、20年後に仙台の大学でキリスト教を教えるようになるなんて、100%考えていなかったですよ。そもそも当時はキリスト教徒ですらなかったのです。これだから人生は面白いですね。

新約聖書にこのような言葉があります。「信仰によって、アブラハムは、自分が財産として受け継ぐことになる土地に出て行くように召し出されると、これに服従し、行き先も知らずに出発したのです。」（ヘブライ人への手紙 11章8節）イスラエル民族の先祖となったアブラハムは、神から「私が示す土地に行きなさい」と呼ばれると、どこに行くのか分からないまま旅立ったというのです。けれども、これはアブラハムだけの話ではありませんね。私たちも皆、どこに行くかは分からない状態で新たな旅に踏み出すのです。不安があるのは当然です。

その中で、1つ確かなことがあります。どのような道をたどるとしても、神は皆さん1人ひとりのことを愛して下さり、その人生を価値あるもの、意味あるものと見て下さっている、ということです。失敗して転んだり、自分の弱さを思い知るような体験をしても、それは自分の内面を深くし、「自分は1人で生きているのではないのだ」と知る機会になります。それが、イエス・キリストの十字架と復活に象徴される神の愛です。このことを忘れずに、心にとどめておきましょう。聖書も手元に残しておいて下さい。後できっと役に立ちますよ。（栗）